



世代間交流

地域ともっとふれ愛あいませんか



核家族化や少子高齢化が進み、地域でのふれあいの機会が少なくなっていると言われる中、住民同士の連帯感を強め、地域の活性化につなげようと、世代間交流の場を求める声が高まっています。

今月は、高齢者や子育て世代などが地域でふれあいを楽しむ区の取り組み、世代間交流サロン「ふれ愛あいひろば」を紹介します。

◆子どもが多いまち 清田区

清田区は30代後半から40代の若い世代の家庭が多く、札幌市の中で最も年少人口の比率が高いという特徴があります。

また、就学期の子どもを持つ家庭が多いほか、共働き世帯が多いといった郊外地域の特色があります。

このような背景から、区では「未来を創造する若々しいまち」をまちづくりの基本目標の一つとして掲げ、住民が安心して子どもを産み育てられる社会的支援の仕組みや環境づくりに関する取り組みを積極的に進めています。

◆「ふれ愛あいひろば」って、

世代間交流サロン「ふれ愛ひろば」は、地域住民と子育て家庭の交流の場です。

区内5つの地区ごとに、開催する季節に合わせた工作（7月は七夕飾り作り、8月は金魚鉢のコースター作りなど）や全員での合唱、絵合わせじゃんけんなどのふれあい遊びをしながら、異なる世代の参加者が交流を楽しみます。

地域の中で安心して子育てができ、住民が互いに支え合えるまちづくりを目指した取り組みです。